

「徳島県歯科口腔保健推進計画」（案）について
～笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり～

1 策定の趣旨

本県では、う蝕（むし歯）や歯周疾患の罹患率が、すべてのライフステージで全国平均を上回る状況にあり、県民の歯と口腔の健康づくりに取り組む機運を一層醸成し、行政や関係機関が一体となって取り組んでいく必要がある。このことから、「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」（平成24年2月施行）に基づき、歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画を策定する。

2 計画期間

平成25年度から平成29年度までの5年間。3年を目途に中間評価を行う。

3 計画案の概要

(1) 目標

「歯と口腔の健康づくりで生涯健康とくしまの実現」を目指す。

- ① 健康水準目標（ライフステージごとの目標）
- ② 行動目標（県民自らが取り組む目標）
- ③ 環境整備目標（関係機関での体制整備等の目標）に分類し、目標値を設定

(2) 施策

① ライフステージ等に応じた歯と口腔の健康づくりの推進

妊 娠 期 ・ 乳 幼 児 期	胎児期からの歯科疾患予防の重要性を普及啓発 [目標] 3歳児でのう蝕のない者の増加 H23 : 72.8% → H29 : 80.0%
学 齢 期	セルフケア・セルフチェックの重要性や食育を通じた意識啓発 [目標] 12歳児でのう蝕のない者の増加 H23 : 51.6% → H29 : 60.0%
成 人 期	糖尿病を意識した歯周病対策、定期的な歯科健診の受診勧奨 [目標] 40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少 H22 : 42.6% → H29 : 36.0%
高 齢 期	日常的な口腔ケア、歯科専門職による定期的な口腔ケアの推進 医科歯科連携による、入院時→退院後→在宅医療の切れ目のない 口腔ケア [目標] 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の増加 H22 : 24.7% → H29 : 30.0%
障害者(児)	日常的な口腔ケアの推進、地域の歯科医療機関の協力体制の整備

- ② 歯と口腔の健康づくり推進のための環境整備・連携推進
 - 歯と口腔の健康づくりに携わる人材の確保、資質の向上
 - 関係機関の連携推進、情報の共有と活用

(3) 計画の推進体制

- 県民自らの取組み。歯科医師等関係機関がそれぞれの役割を果たし相互連携
- 計画・実行・評価・改善をしながら計画推進